

# 大会規定

## 1. チーム参加資格

1. 選手全員のユニフォーム・帽子・ストッキングが揃っていてもご出場可能です。番号付きビブス着用であれば、ユニフォームを着用していないチームでもご出場可能です。
2. 1チームあたりの登録選手の上限はありません。性別は問いません。ただし、代表者は18歳以上とします。
3. 大会規約にのっとり、マナーを遵守したフェアプレーができること。
4. チームで複数エントリーが可能です。但し、1選手につき1チームの登録とします。
5. 合同チーム、選抜チームでの出場も可能といたします。

## 2. エントリーに関する特定措置等

1. 参加可能な都道府県は、九州・中国・四国エリアの中学軟式チーム（部活動・クラブチームともに可）決勝ラウンドは九州地区3チーム・中国地区2チーム・四国地区1チーム・山口県2チームのトーナメント方式とする。上記チーム数以上のエントリーがあった場合は自主対戦にて各エリアにて予選を実施（詳細は自主対戦試合規程8.その他対戦方式について参照）
2. 各エリアにて1の規定チーム数がそろわなかった場合他エリアからの繰り上げとする。（別途大会本部より連絡）

## 3. 出場選手の申告・提出

1. 出場選手の申告・提出は決勝大会から必須となります。自主対戦は提出の必要はありません。
2. 試合に出場できるのは登録された選手（本人）のみとなります。

## 4. グラウンドマナー

1. 相手チームや審判員へのヤジは禁止とします。
2. 審判員の指示に従うこと。従わないチームは失格とします。
3. 会場施設を破損した場合、修繕にかかる費用は当事者の負担とします。
4. その他大会規約に違反した行為が発覚した場合、審判員及び事務局の判断で失格とすることがあります。

## 5. その他

1. 大会中に発生した事故・傷害・トラブル・野球道具の損傷に関して、主催者は一切責任を負いません。各チームで必ずスポーツ保険に加入をしてください。
2. 主催者及び事務局からの諸連絡は、代表者に「電話」「FAX」「メール」「郵送」のいずれかにて行います。
3. 大会の運営に関して、当規約に明記されていない事項を決定しなければならない場合は、その決定は主催者が行います。

# 決勝ラウンド試合規定

## 1. イニングについて

7回制、時間制限ありとします。

雨天等悪天候、日没等により試合続行が不可能となった場合は、45分経過をもって試合成立とします。

※最終回の設定方法について

試合開始後、90分に到達したイニングを最終回とする。ただし、後攻側チームの攻撃中に90分に到達し、その時点で後攻側攻撃チームが得点優位の場合に限り、次のイニングを最終回とする。(守り負けなし)

## 2. 引き分けの場合

90分終了もしくは7回終了時点で同点の場合、タイブレーク方式で決定します。

※タイブレーク方式: 1死満塁とし、打者は継続打者、走者は前回の3打者をそれぞれ走者として行います。

## 3. コールドゲーム

5回以降10点、6回以降7点差でコールドゲームとします。

## 4. 試合ルール

1. ルールは公認野球規則に準じます。
2. 投手の球数制限については、1日100球までとする。ただし打者の途中で制限数を迎えた場合は当該打者の打席完了までは投球を認める。
3. グラウンドルールに関しては、当該審判員及び両チームの代表者の判断によります。
4. 本大会は1人でも多くの選手に出場してもらう為に、リエントリー制度を導入します。  
リエントリー制度とは、スターティングメンバー表提出時の9名に限って、一度選手交代で退いても、一度限り、再度試合に出ることが出来る。  
その場合、打順は元の打順に入るが、守備位置は変わっても構わない。
5. DH制は採用とします。

## 5. 審判について

決勝大会は大会本部により手配

## 6. 用具

1. 試合球は、本部手配とします。
2. 打者はヘルメットを必ず着用してください。
3. バットは市販されている規定品であることとします。  
審判団が天候上危険と判断した場合は、使用を禁止する場合があります。
4. 捕手はマスク・レガース・プロテクターを必ず着用してください。

## 7.その他

1. 試合開始時刻に選手が9名揃わなかったチームは不戦敗となります。
2. 各チームはメンバー表4部(審判用・相手チーム用・本部用・アナウンス用)を提出してください。
3. グラウンド整備を含む試合会場の後片付けや、ファウルボール拾いは、両チーム協力のもと行ってください。
4. 落雷の危険がある場合は、直ちに試合を中断してください。

# 自主対戦試合規定

## 1.イニングについて

7回制、時間制限ありとします。

雨天等悪天候、日没等により試合続行が不可能となった場合は、45分経過をもって試合成立とします。

※最終回の設定方法について

試合開始後、90分に到達したイニングを最終回とする。ただし、後攻側チームの攻撃中に90分に到達し、その時点で後攻側攻撃チームが得点優位の場合に限り、次のイニングを最終回とする。(守り負けなし)

## 2.引き分けの場合

制限時間到達もしくは7回終了時点で同点の場合、タイブレーク方式で決定します。

※タイブレーク方式:1死満塁とし、打者は継続打者、走者は前回の3打者をそれぞれ走者として行います。

## 3.コールドゲーム

5回以降10点、6回以降7点差でコールドゲームとします。

## 4.試合ルール

1. ルールは公認野球規則に準じます。
2. 投手の球数制限については、1日100球までとする。ただし打者の途中で制限数を迎えた場合は当該打者の打席完了までは投球を認める。
3. グラウンドルールに関しては、当該審判員及び両チームの代表者の判断によります。
4. 本大会は1人でも多くの選手に出場してもらう為に、リエントリー制度を導入します。  
リエントリー制度とは、スターティングメンバー表提出時の9名に限って、一度選手交代で退いても、一度限り、再度試合に出ることが出来る。  
その場合、打順は元の打順に入るが、守備位置は変わっても構わない。
5. DH制は採用とします。

## 6.審判について

自主対戦については、対戦相手と協議の上、それぞれに行ってください。

## 7.用具

1. 試合球は、試合ごとに各チーム2球ずつ提出してください。
2. 打者はヘルメットを必ず着用してください。
3. バットは市販されている規定品であることとします。審判団が天候上危険と判断した場合は、使用を禁止する場合があります。
4. 捕手はマスク・レガース・プロテクターを必ず着用してください。

## 8.その他

1. 試合開始時刻に選手が9名揃わなかったチームは不戦敗となります。
2. 各チームはメンバー表2部(審判用・相手チーム用)を提出してください。
3. グラウンド整備を含む試合会場の後片付けや、ファウルボール拾いは、両チーム協力のもと行ってください。
4. 落雷の危険がある場合は、直ちに試合を中断してください。

# 対戦方式について

※必ずご確認ください!

## <自主対戦の対戦方法について>

- ・ 大会本部の発表する組合せ表で「対戦相手」「対戦期限」を確認する。
- ・ 事務局より送付する「代表者連絡先一覧」から対戦相手の代表連絡先を確認する。
- ・ 双方で連絡を取り合い、期限内の試合可能日を設定する。(予備日を含め決定すること)
- ・ 試合日が確定後、トーナメント表の番号が若いチームが「球場」「審判」を決定ください。  
※ご父兄による審判でも問題はありません。
- ・ 試合終了後、3日以内に「勝利チーム」がメールまたは電話にて大会本部へ連絡
- ・ 大会本部の発表する組み合わせ表で試合結果を確認し、次の相手との交渉に入る

# 勝敗の決定方法について

## <期限内に対戦ができなかった場合>

対戦可能日の数により勝敗を決定します。

- ・ 対戦可能日が多いチーム→不戦勝
- ・ 対戦可能日が少ないチーム→不戦敗
- ・ 対戦可能日が同じの場合→事務局所定の抽選方法にて勝敗を決定

## <対戦期限について>

対戦期限内に設定された試合が、雨天等により試合不可となった場合は、対戦期限の延長をさせていただきます。

申告のあったもののみ延長とさせていただきますので、雨天により延期となった場合は、事務局に申請をお願いいたします。

# トラブルの対応について

■以下の内容など、試合現場でのトラブルが発生した場合は、該当チームまたは審判員へヒアリングを行い処分を決定します。

- ・ 対戦相手の暴言また、野次などの行為が起きた場合
- ・ 派遣審判の判定で揉めた場合。
- ・ タイムアップの時間で揉めた場合